

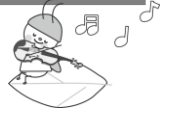
ほんまち

10月 園だより

令和 2年 9月 30日

渋谷区立本町幼稚園発行

<https://www.fureai-cloud.jp/hon-yo/>



秋の訪れとともに感じる成長

園長 森山 未来

金木犀の香りはお好きですか？秋風とともに漂ってくる金木犀の香りは、自己主張がかなり強く、好みが分かれることと思います。ですが、この金木犀の香りに鼻先をくすぐられて、秋の訪れを感じる方も多いのではないのでしょうか。秋の訪れを感じるものは、他にも様々あり、例えば、園庭の花水木の赤い実をヒヨドリがうれしそうについばむ様子、アカマンマが秋らしいほっこりとした赤紫色の穂を伸ばし始めた様子を見ると、「秋が来たのだなぁ」としみじみ思います。きっと皆さんの元にも、それぞれの秋が届けられているのではないのでしょうか。

日中もほっと過ごせる日が多くなり、今、幼稚園では子供たちが自分たちの遊びに夢中になる姿があります。カレンダーは10月になりましたが、子供たちの実質的な幼稚園生活は、ちょうど6月頃（約3か月過ぎた頃）と言えるでしょう。新しい生活様式にも慣れ、できるようになったことも随分と増えてきました。

年少もも組の子供たちは、お店屋さんごっこ、電車ごっこなど、ごっこ遊びに夢中です。すみれ組のお兄さん、お姉さんのごっこ遊びにもお客さんとして呼んでもらい、保育室を行き来する姿が見られます。簡単な鬼遊びも楽しめるようになってきました。最初は先生が鬼役でしたが、最近では子供たちが交代で鬼役をすることができるようになってきました。一人一人が自分の好きなことを見付け、みんなと一緒に遊ぶ時間も楽しめるように、スモールステップではありますが、確実に学級として成長しているもも組さんです。

年長すみれ組の子供たちは、様子を見守ってきたもも組さんに、自分から声を掛けたり、遊びに誘ったり、時には幼稚園のルールを教えたりしています。自然に関わることができるようになり、微笑ましいやり取りがたくさん見られます。自分たちの遊びも、それぞれの遊びの拠点をもち、製作コーナーで作っては持ち込み、友達と相談しては場をつくり変え、友達同士の関わりが活発になってきました。そして、「頑張れるように、エイエイオー！」と元気に声を合わせて、開戦ドン（じゃんけん鬼）ではチームで力を合わせることに夢中です。仲間と相談して作戦を考えられるようになり、熱戦が繰り広げられています。友達とつながって遊ぶ醍醐味を味わっていることが、学級の様子から伝わってきます。

幼稚園教育の肝とも言える、「集団性」に支えられて、どちらの学級でも、一人一人の子供たちが確実に成長しています。教材が与えられたとしても、知識を教えられたとしても、実感を持った体験によらなければ本当の学びにはなりません。子供たちは、友達と一緒に過ごす生活を通して、人とのつながりを感じ、今まで出会うことがなかった「自分」に出会っていきます。家では感じる事がなかった“新たな自分への気づき”を集団生活でたくさん獲得できるように、そして、そのための遊びが面白く充実したものになるように、今年度ならではの園生活を工夫してまいります。

今年度は、幼稚園の様々な取り組みが、例年とは違った形式になります。今一度、保護者の皆様には、今の子供たちの精一杯の日常に目を向けていただきたく、お願いいたします。子供たちは、常に、Best of best! で前進しています。このエネルギーに報いることができるよう、私たちも力いっぱい教育環境を整えてまいります。今年度が、瞬く間に半分まで過ぎたことを思い、改めて、残りの園生活にも皆様のご理解とご協力を賜わることができれば幸いです。